

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	生産情報小委員会		主 査 名：深井和宏 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済委員会		委員長名：眞嶋 二郎
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本小委員会は、建築生産プロセスにおける社会的ルールのあるべき姿の検討、研究、提案を行うことを目的とする。</li> <li>2. 具体的には、建築生産における各分担主体間の情報処理の円滑化、確実化をめざし、ITとは異なるヒューマンファクターを重視し、建築生産プロセスにおける社会的ルールの現状分析、あるべき姿を対象とする。</li> <li>3. 2005 年度は、生産情報の視点から研究討議を行い、情報収集、現状の把握分析を行う。</li> <li>4. 2006 年度は、活動計画に示したような生産情報に関する様々なテーマを引き続き討議し、関連する他の委員会や研究者と共同 WS、見学会を予定する。</li> <li>5. 2007 年度は、問題構造の把握、提言案をつくる。</li> <li>6. 2008 年度は、提言案に対して広く意見収集を行い提案にまとめる。</li> </ol>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有		
	松本 光平(明海大学)、須田松次郎(建築研究開発コンサルタンツ) 佐々木 良和(竹中工務店)、江藤 孝行(職業能力開発大学校東京校) 岡 正樹(デルファイ研究所)、木本 健二 (芝浦工業大学) 種田 誠 (ディー・エイチ・エル・ジャパン)、山川 純一(個人研究者) 深井 和宏(ものづくり大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	設置なし		
2006 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/keizai/jouhou/">http://news-sv.aij.or.jp/keizai/jouhou/</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	10 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>A. 生産情報というテーマを下記の視点から研究討議を行い、情報収集、現状の把握分析を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 設計情報、生産情報の生成と業務分担</li> <li>2) 建築生産における技能の技術的分析と教育システム</li> <li>3) 伝統的木造建築における生産情報伝達</li> <li>4) 建築関連紛争における建築情報伝達のあり方</li> <li>5) 建設業における環境保全活動の現状と動向</li> <li>6) 建築生産現場における技術者の判断、倫理</li> </ol> <p>B. 技能系人材の育成システムの現状を把握するため以下の見学会を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 技能五輪山口大会見学</li> <li>2) 長野県産業技術学校等の施設、カリキュラムに関する調査見学</li> <li>3) 技能五輪香川大会見学</li> <li>4) 職業能力開発総合大学校東京校見学</li> <li>5) ものづくり大学見学</li> </ol>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<p>・委員に若手研究者を補充すること</p>
<p>その他の活動状況・研究成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 共同ワークショップ：「建築生産実務の教育」(6/23&lt;金&gt;、建築学会 303 会議室、建築教育委員会技術技能教育小委員会と共催) 参加者数：9名 資料：プリント資料</li> <li>2. 見学会：職業能力開発総合大学校東京校 (7/21&lt;金&gt;、東京、建築教育委員会技術技能教育小委員会と共催) 参加者数：7名</li> <li>3. 見学会：ものづくり大学(10/26&lt;金&gt;、埼玉県行田市、建築教育委員会技術技能教育小委員会と共催) 参加者数：10名</li> </ol>

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。